

会議の名称	(番号) 2-15	墨田区入札等外部審査委員会
開催日時	令和3年7月7日(水) 午後2時から午後2時50分まで	
開催場所	会議室31(オンライン会議)	
出席者数	委員 3名 区 14名 事務局 4名	【委員】 碓井光明 阿部かおり 鈴木利治 【区】 総務部長 総務課長 総務課庶務係主査 契約課長 営繕課主査(2) 保健予防課新型コロナウイルス予防接種調整担当主査 保健予防課新型コロナウイルス予防接種調整担当職員 庶務課長 庶務課庶務・教職員担当主査 庶務課教育情報担当主査 学務課長 学務課事務担当主査 学務課事務担当職員 【事務局】 契約係長 契約係主査 契約係職員(2)
議 題	1 入札及び契約手続の運用状況等の報告(令和2年度下半期分) 2 入札参加者の指名停止について(報告) 3 抽出案件の審査	
配 付 資 料	1 令和2年度下半期発注案件一覧表・受注業者別受注件数等 2 入札参加者の指名停止公表資料 3 令和3年度第1回墨田区入札等外部審査委員会(令和2年度下半期発注案件分)抽出案件一覧表等	
会 議 概 要	1 報告案件 (1) 前回の会議概要等の公表について (2) 入札及び契約手続の運用状況等の報告(令和2年度下半期分) 別添資料のとおり、墨田区入札等外部審査委員会の組織及び運営に関する要綱(以下「要綱」という。)第2条第1号の報告を受けた。 (3) 入札参加者の指名停止案件 1件 2 抽出案件の審査 鈴木委員が抽出した次の入札及び契約について、要綱第2条第2号の審査を行った(主な質疑、意見等は、別紙のとおり)。 なお、これらの入札及び契約につき、要綱第2条第3号に規定する意見具申を行うべき不適切な点等は認められなかった。 (1) すみだトリフォニーホール事務室空調機取替工事 (2) 庁舎リニューアルプランに基づくエレベーター更新工事 (3) 旧すみだ中小企業センター大規模改修に伴う外構改修工事 (4) 学校等災害備蓄品の購入 外1件	

	(5) 学校 I C T ネットワークシステムの機器等の借上 (6) 墨田区新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の実施に関する 業務委託
所 管 課	総務部契約課

1 すみだトリフォニーホール事務室空調機取替工事

委員の質疑、意見等	区の回答等
同じ空調工事という業種でも、不調のものや落札率が低いものがあるが、何故このようになるのか。	技術者不足や作業員の確保が難しい等の理由により全者が辞退した場合、不調となる。 一般的に、空調工事の場合、受注生産品による工事なのか、汎用機器による工事なのかにより落札率に差が出ると思われ、汎用機器による比較的単純な工事だと落札率が低くなると推測される。

2 庁舎リニューアルプランに基づくエレベーター更新工事

委員の質疑、意見等	区の回答等
ほかの随意契約と比較すると、予定価格に対する契約金額の割合が低くなっているが、何故か。	予算化にあたっての業者による主管課への見積提出後、業者が改めて内容を精査し、企業努力等により金額を低くすることが可能になったためと推測される。
予算化にあたっては、相手方から見積りを徴取するものなのか。	本工事については、予算化する段階で、業者から見積りを徴取し、他自治体の落札率等を勘案し、予算化している。

3 旧すみだ中小企業センター大規模改修に伴う外構改修工事

委員の質疑、意見等	区の回答等
外構改修工事というものは、特定の業者にしかできないものではないと思うが、随意契約とした理由は何か。	当該施設では、別途「旧すみだ中小企業センター大規模改修工事」を施工中であり、次の用途である大学の開校までの限られた期間で外構工事を完了させるためには、大規模改修工事と本工事を重複させて行わなければならないが、外構部分には大規模改修工事の仮設物が多く存置されており、限られた作業区域内において工事を行うには、同じ業者でなければ工期内の安全かつ確実な履行が困難であることから、競争入札ではなく、随意契約により契約を締結した。

本体工事と外構工事を分けて契約したのは何故か。	次の用途である大学側との調整に時間を要し、工事開始時期及び終了時期が合わなくなり、別々の発注となった。
金額はどのように決定したのか。	東京都財務局の積算基準や設計単価及び積算システムに基づいて積算した起工金額を参考に、予定価格を定めた。

4 学校等災害備蓄品の購入 外1件

委員の質疑、意見等	区の回答等
「学校等災害備蓄品の購入」と「学習机及び椅子の購入」の2件は、どちらも備品の購入であるが、落札率が10%以上異なるのは何故か。	購入する物品が異なると、指名する業種及び業者も異なり、業者によって仕入先や仕入金額が異なる等の理由により、結果的に落札率に違いが生じた。

5 学校ICTネットワークシステムの機器等の借上

委員の質疑、意見等	区の回答等
落札率が高いのは何故か。	IPアドレス等の設定をした機器を借上げる契約で、機器の調達先を「学校ICTネットワークシステム」を構築した業者に指定したため、高くなったと考えられる。
入札業者すべてが、機器の設定に係わった業者なのか。	調達先（1者）が調達・設定した機器を、リース会社がそれぞれのリース率により積算して応札したということで、入札業者は機器の設定には係わっていない。 調達先を指定することにより、セキュリティを確保している。
仕入額が決まっていて、リース率の差で落札業者が決定したということか。	そのとおりである。

6 墨田区新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の実施に関する業務委託

委員の質疑、意見等	区の回答等
どうして随意契約にしたのか。	新型コロナウイルスワクチン接種は全国一斉に実施される事業であり、多くの自治体が同様の業務委託をするため、確実に業務を履行することができる事業者を早期に選定する必要があったことから、本区で同規模の業務委託を受託した実績があり、本区の状況にも精通している事業者と緊急随意契約を締結した。
この業務委託契約は、どのような内容となるのか。	新型コロナウイルスワクチン接種に係るコールセンターの運営、接種票の封入封緘・発送業務及び予約システムの作成等の業務を委託したものである。
この業者は、コールセンター業務を下請けに出していると聞いているが、本当なのか。	個々に選択及び契約する時間がなかったため、コールセンター業務を下請けに出してはいたが、総括的に契約できたこの業者と随意契約を締結した。
接種体制の確保というのは、どのような業務を指しているのか。	コールセンター業務として相談一式から予約、予約システムの開発・運営、接種券の内容検討・印刷・封入封緘・発送、集団接種の接種記録の入力業務を指している。
共通した業務をパッケージで契約できるところということで一般的には理解できるが、本当に良かったのか業務終了後に検証の必要があると思う。	—